

1. 医学部教育

六年一貫新カリキュラムが導入されて7年になり、その教育を受けた卒業生の輩出は2回目となった。

A 全学教育

医学部は個別科目の人間科学分野において、教養部廃止後の責任部局として全学教育の運営を担った(表1)。但し、教養部の廃止により、全学教育の企画、実施の核が消滅したことになり、旧教養部教官が他学部に分属されたことから総合大学としての教養教育の維持に支障を来している。

B 専門教育

1～6年次生の授業は基本的に平成9年度と同じ時間割で実施された(表2)。リサーチセミナーは開講されて4年目になったが、今年度から海外の大学との単位互換が実施された(表3)。長崎大学医学部における臨床教育に協力する学外の医療機関等の優れた医師に対する称号の付与(臨床教授7名、臨床助教授3名)が行われ、臨床教育の指導体制の充実を図ることとした(表4)。平成10年度の6年次在學生は86名で、すべて卒業し、新卒業者の医師国家試験合格率は94.1%であった。尚、新カリキュラムを見直し、平成11年度入學生から適用する更に新しいカリキュラム編成の作業を開始した。

(平成10年度 医学部長 池田高良(4～9月)、齊藤 寛(10～3月)、
教務委員長 谷山紘太郎、学生委員長 澄川耕二)

(文責 谷山紘太郎)

表1 平成10年度 医学部教官の全学教育への参画

A. 全学教育授業科目担当の医学部教官

分野	授業科目	担当教官
人間科学分野	人間学A	古賀成彦、野俣浩一郎、福田久信、吉村秀一郎、酒井英樹、後藤英夫
	生体機能学A	岩堀修明、松田好弘、中根允文、雨宮次生、澄川耕二、柴田尚武、安永暁生、大平明弘、岡崎祐士、上之郷眞木雄、徳永能治、北岡 隆、中村龍文、調 漸、城丸みさと、中尾善亮
	健康科学A	田口 尚、関根一郎、寺本 司、山本憲嗣、下川 功、下田照文、原田孝司
	ハンディキャップA	中根允文、雨宮次生、藤井 徹、平野明喜、進藤裕幸、城丸みさと、北岡 隆
	人間学B-1	松坂哲應、福田雅文
	人間学B-2	中園一郎、下川 功、折原義行
	生体機能学B-1	矢野捷介、相川忠臣、松本逸郎、早野元信、瀬戸信二、門田淳一、下田照文、山田恭暉
	生体機能学B-2	牧山和也、横山直方
	生体防御B	江口勝美、由井克之、宿輪哲生、田中洋一、渡辺雅久、河部庸次郎、片山一朗、前崎繁文
	生体と薬B	谷山紘太郎、丹羽正美、長谷場純敬、市川正孝、柴田 治、佐々木均、朝野和典
健康科学B	兼松隆之、釘宮敏定、上平 憲、綾部公懿、藤岡ひかる、中越 亨、福田俊夫、古井純一郎、安武 亨、東 尚	
人類生態学B	竹本泰一郎	
基礎自然科学分野	化学A	矢島エイ子
	化学実験B	毎田徹夫、谷山紘太郎、中園一郎、上平 憲、小路武彦、中山 亨
	細胞生物学B	山下俊一、難波裕幸、小路武彦、松山俊文
	動物生理学B	相川忠臣、松田好弘、松本逸郎
応用自然科学分野	応用生物科学B	佐藤 浩、岡市協生

分野	授業科目	担当教官
総合科目	平和講座	貞森直樹
	現代の生命像 1	齋藤 寛、岩堀修明、由井克之
	現代の生命像 2	齋藤 泰、齋藤 寛、新川詔夫、陣野吉廣
	長崎の自然・社会・文化	三根真理子
	火山と災害	竹本泰一郎
	放射能の光と影	林 邦昭、貞森直樹
	情報と歴史	相川忠臣
一般情報処理科目	情報処理演習	三根真理子、本田純久
健康コンディショニング科目	コンディショニング	上平 憲、岡崎祐士、鈴木 伸、山口義彦、赤澤昭一、岡三喜男、草場英介、諸岡浩明、藤江 透、槇田徹次、秋山盛登司、浜田芳人、芦澤直人

B. 全学教育関連委員会の医学部委員

委員会	委員
全学教育実施委員会	谷山紘太郎（教務委員長） 上平 憲 石丸忠之（人間科学分野専門委員会委員長）
分野・科目別専門委員会	
・人間科学分野	中園一郎、田口 尚、石丸忠之、片峰 茂
・基礎自然科学分野	松山俊文、山下俊一
・応用自然科学分野	由井克之
・総合科目	岩堀修明
・一般情報処理科目	上平 憲
・外国語関連科目	小林俊光
・健康コンディショニング科目	江口勝美
・留学生用科目	片山一朗

表2 平成10年度 1～5年次授業科目(系)責任者

学年	授業科目	責任者
1年次	医学入門	澄川耕二
	人間生物学	毎田徹夫
	人体構造系I	長島聖司
2年次	人体構造系II	長島聖司
	神経・感覚器系	岩堀修明
	発生・組織系	小路武彦
	動物性機能系	松田好弘
	内臓機能・体液系	相川忠臣
	生体分子系	毎田徹夫
	環境因子系I	奥村寛
3年次	病理総論系	田口尚
	感染系	片峰茂
	腫瘍系	松山俊文
	免疫系	由井克之
	分子病態総論	近藤宇史
	環境因子系II	齋藤寛
	薬理学I	谷山紘太郎
	循環器系	矢野捷介
	呼吸器系	林邦昭
	消化器系	関根一郎
	血液・リンパ系	朝長万左男
	中毒・物理的要因系	竹本泰一郎
薬理学II	谷山紘太郎	
4年次	脳・神経系	中村龍文
	腎・泌尿器系	田口尚
	内分泌・代謝・栄養系	江口勝美
	生殖系	石丸忠之
	運動系	進藤裕幸
	小児系	松坂哲應
	診断学	江口勝美

学年	授業科目	責任者
4年次	外科治療学	兼松隆之
	感覚系(眼科学)	雨宮次生
	感覚系(耳鼻咽喉科学)	小林俊光
	皮膚・結合組織系	片山一朗
	精神系	岡崎祐士
	社会医学I	齋藤寛、竹本泰一郎
	内科総括講義	江口勝美
	外科総括講義	兼松隆之
	臨床検査医学総括講義	上平憲
リサーチセミナー	松山俊文	

学年	授業科目	責任者
5年次	法医学	中園一郎
	社会医学II	竹本泰一郎、齋藤寛
	内科総括講義	江口勝美
	外科総括講義	兼松隆之
	小児科総括講義	松坂哲應
	整形外科総括講義	進藤裕幸
	皮膚科総括講義	片山一朗
	眼科総括講義	雨宮次生
	泌尿器科総括講義	齋藤泰
	耳鼻咽喉科総括講義	小林俊光
	放射線医学総括講義	林邦昭
	産婦人科総括講義	石丸忠之
	麻酔科総括講義	澄川耕二
	脳神経外科総括講義	柴田尚武
	形成外科総括講義	藤井徹
	心臓血管外科総括講義	高木正剛
総合病理学	田口尚	
医と社会(医療科学)	中根允文	

表3 平成10年度 4年次後期「リサーチセミナー」

教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
解剖学第一	岩堀修明	シビレエイの発電器の制御機構	2
解剖学第二	長島聖司 岡本圭史 分部哲秋 佐伯和信	局所解剖	3
解剖学第三	小路武彦	雌雄生殖器官におけるエストロゲン受容体 β 発現の検討	2
	和泉伸一	ラット胎盤ホルモンの転写調節因子発現の組織科学的検索	1
	進正志	ラット再生肝におけるCREB発現の検討	1
生理学第一	相川忠臣	カリウム代謝と副腎髄質ホルモン	1
	松本逸郎	摂食およびグルコースによるカテコールアミン分泌	1
生理学第二	靱山俊彦	パッチクランプ法による中枢神経系シナプス伝達機序の解析	1
	藤村幸一	電気生理学的手法と色素標識法による中枢ニューロン連鎖の解析	1
生化学	毎田徹夫	脳細胞におけるミオシン軽鎖のリン酸化	1
		骨格筋ミオシンの構造と機能	1
	中山亨	ミオシン軽鎖の分子進化	1
薬理学第一	丹羽正美	脳血液関門(BBB)の分子生物学	1
	永山雄二	TSH受容体の構造と機能の解析及び甲状腺癌の遺伝子治療	1
	姫野昭彦	リガンド認識におけるG-タンパク共役受容体の二量体形成	1
	丹羽正美	定量的画像解析を利用した受容体の動的解析	1
薬理学第二	谷山紘太郎	受容体及びイオンチャンネルについて —クローニングとその発現—	2~3
	貝原宗重 山下康子	中枢および消化管における受容体の分布と機能	2~3
病理学第一	下川功	病理解剖例の検討	2
	樋上賀一	老化と肝細胞のアポトーシス —Fas抗原の発現のメカニズム—	2
病理学第二	田口尚	腎病理学	2
細菌学	片峰茂	HTLV-1/HIVの血清疫学	1
		緑黄野菜に含まれる抗ウイルス物質の検索	
	森内良三	レトロウイルス(HTLV-1)の分子生物学	2

教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
細菌学	坂口末廣	プリオンの生物学	2
衛生学	有澤孝吉	環境疫学または HTLV-1 の疫学	1
公衆衛生学	永田耕司	保健、医療、福祉現場でのコミュニケーション	1～2
	青柳 潔	地域住民における運動器の健康	1～2
医動物学	由井克之	マラリア原虫抗原の遺伝子クローニング	2
	鵜殿 平一郎	ストレス蛋白 hsp70 プロモーター活性の解析	2
法医学	中園 一郎	検案の実際 (Death certification)	1
	津田 亮一	DNA 多型 (DNA polymorphism)	1
	折原 義行	検案の実際 (Death certification)	1
腫瘍医学	松山 俊文	インターフェロン系遺伝子欠損マウスの解析	2
	山本 一男	RNA ポメラゼ/サブユニットの機能解析	2
	河野 友子	細胞遺伝学的手法による新規シグナル伝達因子の同定	2
原研放射	奥村 寛生 岡市 協生	放射線に対する細胞応答と放射線防護の意義	2
原研病理	関根 一郎	放射線腸炎における IL-11 の作用	2
	伊東 正博	小児甲状腺癌の発癌機構	2
原研遺伝	富田 博秋	遺伝病の連鎖解析	2
	陣野 吉廣	ゲノムインプリンティングの分子機構	2
原研遺伝	吉浦 孝一郎	遺伝子の機能解析	2
原研生化	近藤 宇史	リボザイムを導入した細胞のレドックス制御	2
		酸化ストレス応答遺伝子の発現とアポトーシス	2
原研細胞	難波 裕幸	放射線誘発性甲状腺癌の成因究明	1～2
	大津留 晶	癌の遺伝子治療	1～2
	山下 俊一	チェルノブイリ原発事故後の健康影響調査	2
熱帯医学研究所			
分子構造	森田 公一	遺伝子操作によるフラビウイルスのキメラウイルスの作製	2
	ロナルド・マティアス	デングウイルスの分子生物学的研究	2

教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
病原因子	平山壽哉 和田昭裕	ヘリコバクター・ピロリの病原因子に関する研究	2
感染細胞	神原廣二 柳哲雄	長崎におけるクリプトスポリジウム症の疫学	2
	上村春樹	トリパノソーマ原虫に特徴的なトランスシアソーダの構造と局在について	1
	中澤秀介	マウス慢性感染マラリアにおける免疫	1
寄生制御	青木克己	住血吸虫ミラシジウムの遊泳運動と走化性	1
	藤巻康教	グアテマラ産薬用植物の抗糸状虫作用	1
	勝又達哉	住血吸虫セルカリアの酸素分泌におけるCa動態	1
炎症細胞	中村三千男	LightcyclerによるRNAのRT-PCR迅速定量法の開発	1
		慢性肉芽腫症の一家計に見られた多彩なgq91phox遺伝子の欠損の解析	1
		マウス腹膜細胞へのgp91phox遺伝子の導入法の開発	1
病変発現	鳥山寛	各種肝疾患の臨床病理学的研究	3
	板倉英世 井関充及 千馬正敬	悪性リンパ腫および関連疾患の病理学	2
社会環境	溝田勉 山本太郎	新興・再興感染症と国際医療協力	2
疾病生態	小坂光男	日本における生理学の教育と研究の現状	2
生物環境	高木正洋 津田良夫 都野展子	タイに於ける疾病媒介蚊の生態	2
資料情報	嶋田雅暁	開発と健康	1
		文化的存在としての人間と寄生虫の相互関係	1

海外実習生

大学名	実習学生数
1 ライデン大学	2
2 ビュルツブルク大学	2
3 ミンスク医科大学	4

